

日時 平成24年 **11月8日(木)** 13:15~16:40 (受付 12:45~)

参加費無料

定員120名・先着順

活かそう資源、
育てよう人材



四国林業に ついて 考える



平成24年度
森林総合研究所
四国支所
公開講演会



場所

高知会館



TEL.088-823-7123
高知市本町5-6-42
駐車場有 (有料)

13:20
~
15:20

講演

木材産業、建築業からみる林業との接点
~木材利用推進の流れの中で~

東京大学名誉教授 有馬孝禮

四国の森林資源量とこれからの課題

四国支所流域森林保全研究グループ 北原文章

四国の林業生産向上のために

~林業労働力確保の視点から~

東京農業大学教授 今富裕樹

**林業分野における
現場実践力を持つ人材育成の試み**

愛媛大学森林環境管理特別コース特任教授 林和男

15:35
~
16:35

パネルディスカッション



四国林業の発展のために

高知県林業振興・環境部長 田村壮児
高知県森林組合連合会 代表理事会長 戸田文友
土佐林業クラブ会長 福田真苗


左記講演者4名

お問い合わせ先

森林総合研究所 四国支所 連絡調整室
ホームページ: <http://www.ffpri.affrc.go.jp/skk/> メール: koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp

tel:088-844-1121(代)
高知市朝倉西町2-915
FAX:088-844-1130

主催:独立行政法人 森林総合研究所四国支所
後援:高知県、四国森林管理局、高知県森林組合連合会、高知新聞社・RKC高知放送局、NHK高知放送局



活かそう資源、育てよう人材

四国の林業について考える

< 講演内容要旨 >

木材産業、建築業からみる林業との接点 ～木材利用推進の流れの中で～

林業・木材産業に関わる問題は共通性と同時に地域性も存在する。育てる、使う視点からその持続可能性について共通の認識が必要である。とくに木材利用の多様化によって林業との接点である伐採搬出、分別などに木材産業的な視点が重視されている。

四国の森林資源量とこれからの課題

四国の森林率は約75%であるが、そのうち約60%が人工林であり、その経営は森林管理において重要な役割を担っている。一方で、平成21年度に策定された森林・林業再生プランでは、2020年までに木材自給率50%を目標と掲げている。そこで、四国にどれだけの森林資源量・供給量があるか整理し、今後需要量に変化した場合における林業的課題を報告する。

四国の林業生産向上のために ～林業労働力確保の視点から～

四国地域を含め、わが国の林業の大きな課題は、健全な森林を育成しつつ、森林資源を有効に利活用していくことであり、林業生産向上による林業の活性化が決定的なポイントとなる。そのためには、山村で働く林業労働者を増やしていくことが必要不可欠である。本講演では、林業労働の特徴、作業の安全性等についての現状を整理した上で、山村で働く林業労働者を増やしていくための方策について報告する。

林業分野における 現場実践力を持つ人材育成の試み

農学研究科森林環境管理特別コースを開設し、地域の産業に根ざした人材育成の試みを試みている。約20年前に林学科がなくなり、森林科学・森林資源等の組織になり学問進歩により、いわゆる林業の授業が大きく変化している。ここでは、新たな教育システムの立ち上げと、カリキュラム、地域の評価などについて説明する。